

確かな技術習得と関係機関の総合的就農サポートで多数の担い手を輩出

豊後大野市インキュベーションファーム（大分県）

【トレーニングファームの概要】

- 所在 地：大分県豊後大野市
- 研修品目：ピーマン
- 研修人数：3組以内/年（1組2名以上）
- 研修要件：夫婦等1組2名以上（55歳未満で、研修終了後も豊後大野市に居住し就農すること、普通自動車一種免許の資格を有する等）
- 研修内容：実習、模擬営農、座学（2年間）
- 研修場所：インキュベーションファームの研修圃場
- 取組の背景：平成24年1月にインキュベーションファームを開校。営農指導員による栽培管理の実践研修や関係機関職員等による農業技術等の座学研修により技術習得を図るとともに、関係者が連携した就農サポートにより、ピーマンを経営の柱とした農業起業者を育成する体制を確立。
- ホームページ：<https://incubation-farm.jp/>



研修圃場

新規就農までの流れ

- 研修生募集
- ・研修施設HPや各種就農フェア等により情報を発信
 - ・就農・研修意向を確認し、3日～1週間の短期研修を実施
 - ・審査会（毎年10月）により、合格者を決定
- 研修・育成
- ・研修生向けの宿泊施設を自前で完備
 - ・研修圃場における実践研修、座学講座（栽培、経営等）、農業機械講座（大型特殊免許取得含む）、農業簿記講座など、就農に向けた幅広い内容の研修カリキュラムを準備
- 就農支援
- ・行政の就農支援施策（各種給付金）の活用を支援
 - ・就農、定住のための農地および住居の情報収集に取り組み、マッチングをサポート
 - ・農業機械・設備の導入に係る補助事業の活用を支援
- 就農・定着
- ・市、県、生産団体によるサポートを継続（関係機関の定期的な巡回指導により、就農状況の確認、経営発展を支援）
 - ・ピーマン経営が軌道に乗ったら、複合品目で経営発展

サポート体制

- JA
- ・就農希望者の募集支援
 - ・技術指導および就農後の支援
- 豊後大野市農林業振興公社（施設指定管理）
- ・栽培技術習得のための基礎実践研修、就農に向けた模擬経営研修
 - ・就農、定住のための農地および空き家の情報収集ならびに提供
- 市
- ・研修生の募集活動、宿泊施設の管理、研修生の相談窓口、研修全体の進捗管理
 - ・就農に向けた各種申請手続きおよびスケジュール管理
- 県（豊肥振興局）
- ・研修状況の確認および相談、各種就農支援策の手続き支援
 - ・研修期間中～就農後の営農指導



研修の様子

トレーニングファームでの研修

研修期間（2年間：1月～12月）

1年目

2年目

■基礎実践研修（営農技術基礎研修）

- ・営農指導員指導のもと、7.5a（1組当たり）のハウスを利用した栽培基礎実践研修を実施。
- ・農業の基礎知識（植物生理、土壌、病害虫、農業経営等）を習得。
- ・新規就農技術習得支援班による研修内容～就農のための各種情報提供や指導。

※新規就農技術習得支援班… 市・農業公社・県・JAで構成し、研修期間を通じ総合的な指導を行う。

■実践研修（模擬経営研修）

- ・営農指導員指導のもと、15a（1組当たり）のハウスを利用した模擬経営研修を実施。
- ・将来の営農ビジョンを立て資金等を踏まえた営農計画を作成、青年等就農計画の認定（認定新規就農者）を受ける。
- ・就農準備（住居・農地・営農資産）および就農地の決定。



研修修了生の皆さん

- ・これまでに12期生までが研修を修了し、豊後大野市内に就農した（R7.11月時点）。
- ・27組54名の研修修了者が農業経営を継続中。ピーマンの経営安定後にはスイートピーマやかんしょ等との複合経営を開始する等により農業経営を発展させている。
- ・令和8年1月には、13期生（2組4名）が就農し、15期生（1組2名）が新たに研修生活をスタートさせる。